

南米・エクアドルの雲霧林と鉱山開発



雲霧林の希少性などインタグの自然のすばらしさを紹介し、自然保護の観点を 中心に、開発危機や私たちに繋がる問題点を考えます。

日 時：2019年10月11日（金）

19:00～21:00

講 師：一井リツ子さん

（「インタグの鉱山開発を考える」実行委員会）

会 場：（公社）大阪自然環境保全協会 事務所

交 通：地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅③、④-B 番

出口、または JR 東西線「大阪天満宮」駅③

出口から 500m（徒歩約 8 分）

／ハイム天神橋 2 階

参加費：500円

定 員：20名（先着順）

◎申し込み：当日参加も可能ですが、できるだけお申し込みください。表題を「10/11 エクアドルの雲霧林と鉱山開発」として、ksp@n-osaka.jp まで。又は、Fax にて。問い合わせは、担当の後藤迄（TEL:090-8194-6462）

【会場アクセス】



「エクアドルや雲霧林ってどんなところ？」
「鉱山開発問題（銅・モリブデン）」などを
知りたい・語りたい方は是非に！

身近なこととのつながりを考える環境社会問題プロジェクトは、
日頃疑問思うことや、個々の問題意識を持ち寄って、
様々な面から話し合う会にしたいと思っています。
一緒に問題のつながりや根源を考えてみませんか。

主催：公益社団法人大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか）

大阪市北区天神橋 1-9-13-202 TEL. 06-6242-8720 FAX. 06-6881-8103

ホームページ <http://www.nature.or.jp>

【雲霧林と鉱山開発について】



南米赤道直下エクアドル北西部・インタグ地方はアンデス山脈の裾野に位置し、この地を育む「雲霧林」という森林は世界の熱帯雨林の中でも 2.5% という希少な生態系であり、地球上に存在する 35 か所の環境ホットスポットの 2 つを有する世界でも類まれなる生物多様性を有する土地です。この地方はチョコ・マナビ生命地域（コロンビアからエクアドルにかけての保全地域「緑の回廊」）に属し、キチュア系先住民族も多く、住民たちはその豊かな自然と独自の伝統文化を守る様々な取組みにより、持続可能な社会づくりを目指しています。しかし 1990 年代の日本企業による試掘、水質汚染を初めとし、この土地では 20 年以上度重なる鉱山開発危機が繰り返されてきました。現在、様々な多国籍企業の参入で鉱山開発は、急速に拡大しつつあります。

【現地からのビデオメッセージ 2014. 06. 19 から】

自然の豊かさ、コミュニティの豊かさ、そしてすべてのメンバーに支えられる強さ文化の豊かさというものがあります。

私たちは発展というものは、これらの豊かさを守り、尊重すべきものだと、そして経済的豊かさのために、自然、社会、そして文化の豊かさを犠牲にすべきではないと信じています。

「エクアドル・インタグの鉱山開発を考える」実行委員会ウェブページより<http://intagcampaign.web.fc2.com/index_intag.htm>。

